

# 平成26年9月定例会の概要

9月定例会は、平成26年9月8日（月）から25日（木）までの18日間の日程で開催しました。

今定例会では、8億3733万9千円の補正予算をはじめ、15議案を審議し、それぞれ可決、認定するとともに1件の人事案件に同意しました。

ここでは、補正予算特別委員会での質疑の内容を紹介いたします。

## 質疑の抜粋（補正予算特別委員会）

### 【総務費】

**中山間地域未来創造支援事業**

**問** 地域振興費200万円でのような計画ができるのか。具体的に説明されたい。

**答** 中山間地域の産業振興・雇用創出の取り組みが主目的であり、北部地域の施設間の連携と観光資源の組み合わせにより観光交流人口の増加を図る計画とする。



補正予算審査の様子

### ペアシティ三原西館

#### 耐震診断事業

**問** 今回の診断で耐震補強が必要とされた場合どういった考えで臨むか。

**答** 市の持分は58%なので耐震化する場合の費用負担はこの割合になる。管理組合では長期修繕計画に基づき修繕積立金を積み立てており、もし不足する場合は他の所有者と協議しながら検討していく。



ペアシティ三原西館

### 【民生費】

**高坂町コミュニティホーム移転事業**

**問** コミュニティホームとして使用する以外の学校施設はどうするのか。

**答** 体育館を使用するのであれば、耐震性は大丈夫なのか。

**答** 以前幼稚園として活用していた校舎をコミュニ



高坂町コミュニティホーム

### 【衛生費】

**古紙等資源集団回収事業**

ニティホームとして利用し、3階建のもう一棟は地域と今後の活用について検討を行う。

また、体育館は新耐震の設計で建設されているので耐震性はある。

**問** 古紙類の再資源化を促進するが、市の回収はできないということ、古紙等資源集団回収奨励金額の引き上げが提案された。年3回以上集団回収しないといけないのか。

**答** 年3回以上の実施が原則であるが、年に2回でも奨励金は交付している。1回については、話があれば実情を聞いて運用は考えたい。引き上げは10月1日。

### 【商工費】

**三原城築城450年祭推進事業**

**問** 推進協議会への観光コーディネータの関わり方と、歴史に興味をもつ

ている若い力の利用について。

**答** 観光コーディネータは観光協会の職員であり、参画をしていただき

たいと考えている。また、推進協議会の下に部会等を設置する方向性であり、若い方にも参画してもらう。

**マスコットキャラクター及びロゴマークの制作**

**問** マスコット・キャラクターおよびロゴマークの制作について、制作の前にターゲット、コンセプトが決まっているのか。

**答** 推進協議会の設置を予定しており、その中で検討しまとめたい。

**問** 制作においてはプロに任せたい方がよいと思うがどうか。

**答** 一次審査の過程では、市民、プロの方を含めて一般公募する。二次審査の過程でプロもいれて審査する。

### 【土木費】

**がんばる地域交付金事業**

**問** 1億5700万円は、この道路新設改良に使

うのか、この際、米山寺進入路の改良にあてられないか。

**答** 三原観光戦略プランに係る、観光資源に密接に関連する路線については、改良等の検討を行いたい。この度は、継続して進めている市道幸崎町80号線、本郷町小舟木線、他9路線の改良を推進する。

### 【国民健康保険】

**問** 現在の国保基金が年度末には5億8300万円になる見込みだが、基金を使い市民要望である税引き下げを実施すべきではないか。

**答** 年度末基金残高は5億4900万円の見込みだ。

医療費増額等の財源不足に備えるためにも出来るだけ基金は保有したい。

※議決の結果は15ページ及び三原市議会ホームページ内の「議決結果」をご参照ください。